

こんなセミナー  
やりました

# JARA2016 大阪展実演セミナー 『魅惑のフォトショップ』 ～マル秘テクニック♡すべて魅せます♡～

JARA2016 大阪展で開催されたセミナーの様子を紹介します。

普段なかなか目にすることが出来ないプロの「マル秘テクニック」レンダラー 4 人が包み隠さず魅せてくれました。



学生、設計関係者、JARA 協会と、セミナー参加者いろいろ

手描き風 Photoshop の使い方から、3D との連動で景観シミュレーションにも応用できるテクニックなど充実した内容でしたが、軽妙な司会進行も相まって中だるみもなくほぼ時間通り進行、最後にプレゼンターとのトーク&ディスカッションでセミナー終了。

オープニングパーティーに・・・

いろんな世代の方々に参加していただき終始和やかな雰囲気、名刺交換など親睦を深めていただけたのではないのでしょうか・・・



## 水彩とフォトショップのいい関係

～手描きとデジタルのハイブリットパス表現～

湯浅 禎也 (コラムデザインセンター)

●手描きパスをPhotoshopを使って仕上げていく方法を解説しました。



●スケッチアップでモデリングを作成。そのとき、できるだけ無駄な線を残さないように作成し、完成後線画として水彩用紙にプリントアウトする。



●外壁テクスチャ以外を水彩にて仕上げます。その後スキャンしてPCに取り込む。



●データ化したものをフォトショップで開き、外壁テクスチャをメーカーサイトより読み込み、フォトショップの中で変形をかけ貼り付け、陰影をつける。点景も別に描いたデータを貼り付ける。



## 窓の魅せ方

～室内表現から映り込みの表現まで～

西口 浩英 (コル・アート・オフィス)

●より良い建物の表現でも窓の表情ひとつでガラッと雰囲気が変化するものです。擬似表現することで窓の中の奥行きやガラスの透明感といった部分をご紹介しました。

●窓の中は3Dモデリングしていないので平面的なまま。窓中写真のストック画像を貼り付け、いろいろな調整レイヤーを使って好みの色合いにする。



●光源を入れたいので暗めに色調整を行い、覆い焼きカラーで光源を適当に入れる。



●色の付いている部分が窓の表現に関するレイヤー構成。

●空が写り込んでいるように白色のレイヤーを載せる。その時に手前にある樹木のシルエットで部分的に切り取ったりして木の写り込みを表現すると同時に窓の中の写真が見えて奥行き感が出てくる。



## フォトモンタージュの作成

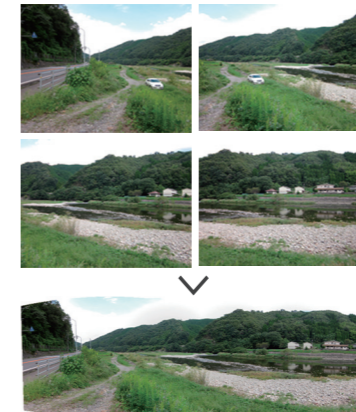
～SketchUpとの連携でフォトモンタージュを作成する～

中村 泰剛 (なかむら工房)

●フォトモンタージュ用のベース画像データの作成方法とSketchUpの写真照合機能を使用し、フォトモンタージュを作成する方法の解説。

●フォトモンタージュ用の画像データの作成

フォトモンタージュを作成する際、現場の状況によっては一枚の写真画像では作成できない場合があるので、複数画像をPhotoshopの自動処理機能「Photomerge」を使用し合成する。重なり合う部分が出るように画像を準備しておけば、「Photomerge」に読み込む事で自動的に合成してくれる。



●不要物の消去には「スポット修復ブラシツール」

現場写真には、不要な物が写り込む事がよくある。そんな時は「スポット修復ブラシツール」を使用すれば簡単に消すことができる。以前は「コピースタンプツール」を使用していたが、こちらのツールのほうがより簡単に出来る。「修復ブラシ」を選択し、不要物をなぞるだけで周辺画像から補完して削除してくれる。



●3Dデータと画像の合成はSketchUpの「写真照合」機能を使う  
フォトモンタージュを作成する際、現場画像の中に3Dモデルを合成するのだが、SketchUpの「写真照合」機能を使うと画像上に3D空間をシュミレートして合成することが出来る。後はレンダリング画像を元画像に合成する。



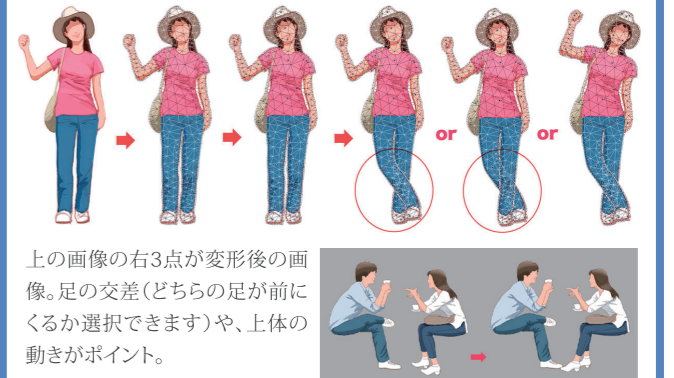
## 点景物の表現バリエーション

～人物のポーズ、樹木の変形加工/ワープ、パペットワープ～

宮崎 岳彦 (アトリエ・アルム)

●Photoshopを使った画像の変形加工には様々な種類方法がありますが、今回はワープ、パペットワープを中心に、点景物(人物・樹木)画像加工の例を紹介させていただきました。市販されている画像をそのままでは事足りないことはよくあることです。

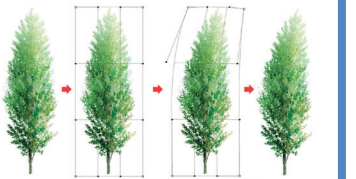
●人物のポーズ：パペットワープを使ったポーズ変形。微妙な変形を従来からある変形ツールよりも簡単にできます。



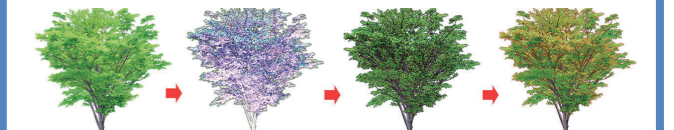
上の画像の右3点が変形後の画像。足の交差(どちらの足が前にくるか選択できます)や、上体の動きがポイント。

●樹木の変形加工：

ワープを使って風になびく高木。ポプラ(らしき樹木)が風になびく様子をワープ変形で簡単にできます。



●写真素材を少しイラストタッチに・・・



写真素材の画像を絵のタッチに合わせる為の方法の一例を紹介しました。

[まとめ]

特に人物の写真を組み込む場合、その権利に関しては十分な注意が要求される時代です。また権利がクリアされた市販の写真画像であっても、制作において「Activity」の表現を求められる場面が多く、画像の加工は大事な工程になることと思います。

- ・機械生成に頼り過ぎにならないこと。
- ・いずれはクリエイティブに横並びになる。
- ・しかし、便利などところを利用しない手はない。
- ・自分で描いたものは全て個性になる可能性。
- ・手を動かしてイメージを創り上げる。
- ・時間がある時は、大いに無駄なことをする。